

2018年度いばらき未来基金冠助成

「積水化成品基金」活動報告書

活動名	里山保全整備と子どもたち参加の体験活動
団体名	特定非営利活動法人こが里山を守る会
この活動で取り組んだ地域の課題(※)	50数年前は、地域住民の生活には欠かせなかった平地林が、生活環境の変化及び所有者の高齢化などにより管理が放棄され藪化した山林、加えて国道4号バイパスに近接している等、交通至便な場所にて、都市部からの産業廃棄物の不法投棄によりゴミ捨て場に化し、景観・動植物の生育環境が大きく損なわれている現状を踏まえ、地域住民が身近な里山に「ふれあい」自然環境保全に関心を持つことが課題である。
この活動の目的(※)	産業廃棄物の不法投棄場所になっている里山、景観及び樹木の生育環境が悪化し身近な自然環境が破壊されつつある。この現状を踏まえて地域の住民が身近な里山に関心を持って「ふれあう」ことが自然環境保全の第一歩につながる活動として、子どもたち参加の里山体験・市民参加の里山観察会を開催、市民及び地域住民が身近なふるさとの里山保全に関心を抱き、次代を担う子どもたちに景観と動植物の生育環境の良い里山を引き継いでいくことを目的とする。
実施内容	会員の定例活動日として、毎月第2・3日曜日実施、(下刈・枯損木伐採・不法投棄ゴミの搬出)を実施。 子どもたちの活動は、園児1回(里山体験ドングリ拾い)・小学生7回(里山の生物調査・里山の恵み・池のかいぼり・植樹)体験活動・中学生3回(里山保全出前講座・立ち枯れ木調査・枯枝集積)実施した。
申請書に記載した「評価指標」に対する、実施「結果」	6.4haの保全整備(下刈・徐間伐・ごみの搬出)を実施、子どもたち参加の体験活動は、里山の恵み体験(山栗拾い・植菌)・植樹(ソメイヨシノ桜100本)・立ち枯れ木モニタリング調査・湧き水池の「かいぼり」を実施した。
申請書に記載した「目的」に対して、生まれた「中長期的成果」	市民の関心を高める里山(花山)づくりとして、天皇陛下御在位30年記念植樹として桜を100本植樹した。花の咲く樹木を植林した目的は、市民が身近な里山に関心を抱き、ふれあうことを目的に桜を植樹した。
申請書に記載したように、市民の新たな「居場所」や「出番」をつくることにつながりましたか?	子どもたちの体験活動・市民参加の観察会に加えて、天皇陛下御在位30年記念植樹として、市民・子どもたち参加により桜を植樹した。この事業がマスコミに取り上げられ多くの市民に周知されたことにより、里山の存在価値が高まった。

※ 申請書から転記いただいて構いません。

<p>活動実施後の展望や 新たに見えてきた 地域課題</p>	<p>当里山の保全整備に加えて、毎年桜を植樹、既に 400 本の桜を植樹、加えて、天皇陛下御在位 30 年記念植樹を実施、令和元年も皇太子御即位記念植樹も計画していることから、当里山を花山に位置づけして、市民の憩いの場として活用したいとの声が寄せられている。 市民が里山に関心を抱くと共に、保全整備に参加する市民を募りたい。</p>
<p>積水化成品工業へ一言</p>	<p>3 年続けての助成ありがとうございました。 又、天皇陛下御在位 30 年記念植樹祭として、急遽、看板設置することになり、御社からの御支援有り難うございました。又、整備活動に社員の皆様に参加を頂き、感謝申し上げます。 当里山は老木・害虫被害による立ち枯れ木が多く発生しており、保全活動は、伐採・搬出作業が多く、重機等の使用頻度が高く、資金的に困窮しているのが実態でありますので、重ねての要望ではありますが、助成をお願いします。</p>
<p>自己評価 (いずれかに ○ を 記入)</p>	<p>A. 目標を超える成果を得ることができた <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった D. その他 ()</p>
<p>自己評価で C を記入された場合、その理由</p>	

※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で 2 ページ以内となるようご配慮ください。

※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータを別途ご送付ください。

※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。

2017年度いばらき未来基金冠助成
「積水化成品基金」決算書

団体名: 特定非営利活動法人こが里山を守る会

里山保全整備と子どもたち参加の体験活動

区分	科目	内容	単価	×	人数・回数	=	金額	計	うち助成金 充当額	うち自己資 金充当額	予算(うち助 成金充当 額)	予算対比	
収益	受取助成金等	積水化成品基金助成金	¥200,000	×	1 式	=	¥200,000	¥200,000					
	自主 財源	受取会費	正会員会費	¥3,000	×	10 人	=	¥30,000	¥30,000				
					×		=	¥0					
経常収益計							¥230,000	¥230,000					
費用	資材費	桜100本	¥1,080	×	100 本	=	¥108,000	¥108,000	¥108,000		¥108,000	¥0	
	"	柵用パイプ	¥626		30 本		¥18,800	¥18,800	¥18,800		¥25,000	¥-6,200	
	"	排水ポンプ	¥24,867		1 式		¥24,867	¥24,867	¥24,867		¥30,000	¥-5,133	
	保険料		¥12,000				¥12,000	¥12,000	¥0	¥12,000	¥0	¥0	
	賃借料	重機	¥66,333				¥66,333	¥66,333	¥48,333	¥18,000	¥37,000	¥11,333	
					×								
					×			¥0	¥0				¥0
					×			¥0	¥0		¥0		¥0
					×			¥0	¥0		¥0		¥0
					×			¥0	¥0		¥0		¥0
					×			¥0	¥0		¥0		¥0
	経常費用計							¥230,000	¥230,000	¥200,000	¥30,000	¥200,000	¥0
当期経常 増減額							¥0	¥0					

2018年度いばらき未来基金冠助成(積水化成品基金)記録

上大野小学校(里山の観察会にて校歌斉唱)



里山の生き物調べ



湧水池のかいぼり



里山の立ち枯れ木のモニタリング



里山出前講座



里山保全整備(下刈)



天皇陛下御在位 30 年記念植樹





里山で夢中になってクリの実を拾う上大野小の児童たち＝28日午後、古河市稲宮

里山のクリ 取れたよ

古河・上大野小

古河市立上大野小学校(同市上大野、滝本秀夫校長)の1、2年生25人が28日、同市稲宮の里山「稲宮の森」を訪れ、クリの実拾いを楽しんだ。

NPO法人「こが里山を守る会」(蒔田睦郎理事長)が管理する里山は、キノコや山菜などが取れる自然の宝庫。クリは約120本が自生しており、同小のク

リの実拾いは8年目。

児童らは、森の中に散らばったクリの実を探しては、「見つけた」「たくさんある」と歓声を上げた。トンクを使って拾い上げ、袋がいっぱいになるまで集めると、「栗ご飯にする」「いっぱい取れたと笑顔を見せた。初めてクリの実拾いをした1年、高橋陽菜乃さん(6)は「簡単に取れて楽しい。取れた実はおじいちゃんにあげたい」と喜んだ。2年、諏訪彩菜さん(7)は「家族みんなで食べたい」と話した。(溝口正則)

桜の苗木100本 里山に植樹

里山を桜の花山にして市民に親しんでもらおうと、古河市稲宮の「稲宮の森」で19日、「こが里山を守る会」の会員と市立上大野小学校の児童らがソメイヨシノ100本を植樹した＝写真＝。

天皇陛下在位30年記念植樹として、国土緑化推進機構などから助成金を得た。会員と児童が手分けして、コナラとクヌギの老木を伐採した跡に高さ約1メートルの苗木を植え、柱にひもでくくりつけた。

参加した6年の箭内稔君(11)は「雨で土が重くて大変だったが楽しかった。



古河・稲宮の森

自分が植えた桜が咲いているのを見に来たい」と話し、同会の蒔田睦郎理事長(73)は、「産廃が放置され、ごみ山と呼ばれていた雑木林を元の里山に戻そうと保全活動を始めた。将来は約10分の森全体を花山にしたい」と話していた。